

旅行がきっかけで島に住んじゃいました



関戸 沙里さん

【プロフィール】

埼玉県川口市出身。2017年4月に大三島に移住。
現在は『大三島みんなの家』を運営。

【お店紹介】

『大三島みんなの家』

昼はカフェ、夜はワインバルとして営業。おすすめのメニューは「スパイスからつくるカレー」

私が大三島に移住するきっかけとなったのは、家族旅行で大三島に来たことです。私は埼玉県に住んでいましたが、埼玉には海がなく、大三島への旅行で、しまなみ海道を始めとする瀬戸内島嶼部の美しさがとても印象に残りました。こういう自然がたくさんあるところで、当時4歳の息子を育てたいと思うようになりました。その旅行中に今治市伊東豊雄建築ミュージアムを訪れ、展示物から、伊東建築塾が大三島の地域活性化に取り組んでいることを知り、東京の伊東建築塾に入塾しました。ちょうどその時、大山祇神社参道の旧法務局をリノベーションした文化交流施設『大三島みんなの家』で働いてい

た方が産休に入られることになり、私が代わりのスタッフとなりました。その後、その方が子どもさんの誕生を機に大三島から離れることになり、私がそのまま運営を引き継ぐことになりました。最初は夫の仕事のこともあり、私一人で大三島にやって来たのですが、夫は東京の会社員のまま仕事をするリモートワークができるようになったため、今は家族で大三島で生活しています。もともとは伊東建築塾が地域の方々との交流拠点となるよう改修を行った大三島みんなの家ですが、現在は島の旬の食材を用いたカフェメニューを楽しむことができ、ワークショップやイベントなども開催できる場所として様々な方に活用されています。大三島みんなの家のユニークな取り組みとして、このお店を訪れた誰かの大切なものが大三島でつながるように、物々交換を始めました。お客さん同士が手書きのコメントを添え、持ち主にとっての思い出が詰まった品々が交換されていきます。大三島を訪れた人が、大三島みんなの家で思い出の品を交換することで、大三島という土地を仲立ちに人のつながりが広がっていくお手伝いができるのはとても嬉しいことです。これからは、仕事だけでなく、大三島のんびりした時間の中で、プライベートについても充実させていければいいなと考えています。

【移住を考える人へ】

移住に迷っている人もいるかもしれませんが、私はもっと早くに移住を決断できればよかったと思っています。大三島は、都会での何でも揃う生活より、より自然と共に暮らしたいと思う私にとって、最高の移住先でした。迷う暇があるなら、即行動に移しましょう。困ったことも0ではありませんが、暮らし始めてみると、案外何とかなるものです。

